



## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて

◆戦略「しごと」【地域の特性を活かして「産業の担い手」と「稼ぐ力」を強化する ～産業を支える多彩な人材の育成と確保～】



戦略プロジェクト名	取組み内容	第2期総合戦略期間における主な取組み〔★は新規事業、■は拡充事業、●は実施予定〕	最終年度(2024)成果目標
 地域の産業を支える 人材育成・確保プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業等への雇用のマッチング支援</li> <li>・事業者と連携した人材確保</li> </ul>	<p>○ひとり親と旅館業のマッチング支援（総合戦略課） ⇒就業移住体験ツアーを通じた就業支援、旅館業との就業マッチング</p> <p>★<u>介護人材育成・定着に向けた事業者補助</u>（長寿介護課） ⇒市内介護サービス事業者等で職員の研修受講費を負担している事業所への補助を実施</p> <p>○合同就職説明会の開催（観光商工課） ⇒伊豆の国市と共催で実施</p> <p>★<u>高齢者就業マッチングの実施</u>（観光商工課） ⇒高齢者の働きたいニーズと企業側の求人をマッチングする説明会の開催</p> <p>★<u>中小企業等奨学金返還支援補助金</u>（観光商工課） ⇒従業員の奨学金の返還を支援する中小企業等に対して負担額の一部補助を実施</p> <p>○商工会と連携した外国人労働者の雇用支援（観光商工課） ⇒●<u>外国人労働者の受け入れと雇用に向けた支援の検討・実施</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業所の従業者数 基準値（R1）9,232人 ⇒ <b>9,332人</b></li> <li>・雇用支援を行った事業者件数 基準値 一件 ⇒ <b>年3件、延べ15件</b></li> </ul>
 商工業の活性化に挑む にぎわい向上プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業支援の推進</li> <li>・空き店舗等の積極的な活用</li> </ul>	<p>■<u>起業・創業の支援</u>（観光商工課） ⇒新規に起業等する際の家賃・リフォーム費用の補助 （R2より既存店舗の事業拡大に伴う増築等についても補助対象とする）</p> <p>★<u>修善寺駅前の空き店舗を活用したチャレンジショップの開設</u>（観光商工課） ⇒起業・創業希望者への「事業試行」に向けた実施場所の提供</p> <p>○起業・創業支援セミナーの充実（観光商工課） ⇒起業・創業希望者等を対象としたセミナーの実施、●<u>女性向け起業セミナーの検討・実施</u></p> <p>■<u>修善寺駅周辺の賑わい創出</u>（産業振興協議会） ⇒修善寺駅西口広場での賑わいイベントの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援施策を活用して起業・創業した件数 基準値（H30実績）年5件（延28件） ⇒ <b>年7件、延べ35件</b></li> <li>・空き店舗解消数 基準値（H30実績）年2件（延10件） ⇒ <b>年3件、延べ15件</b></li> </ul>
ブランディングによる 販売力強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税、インターネットショッピング等による伊豆市特産物等の販売促進</li> </ul>	<p>○ふるさと納税の推進（財務課） ⇒ふるさと納税ポータルサイトへの掲載、新聞折り込み等による伊豆市に対する寄付の促進</p> <p>★<u>インターネットショッピングによる特産物の販売促進</u>（産業振興協議会） ⇒新たに構築するショッピングサイトでの「アマギフト」及び市内特産物の販売</p> <p>★<u>物販イベントでの特産物の販売促進と新商品の開発</u>（産業振興協議会） ⇒東部地区（伊豆高原駅・伊豆村の駅等）での物産展の実施 ⇒気軽に食べ歩きができる商品の開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税、インターネットショッピングを通じた特産物等の販売額 基準値（H30年間実績）522.8万円 ⇒ <b>年700万円</b></li> </ul>

## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて


<p>人を呼び、魅力を売り込む 稼げる観光プロジェクト</p>	<p>・マーケティングに基づいた積極的な プロモーション</p> <p>・外国人観光客等の誘客強化</p>	<p>&lt;国内向け&gt;</p> <p>○市内への誘客に向けたプロモーション（産業振興協議会）</p> <p>⇒DC 企画イベント（全 13 種）の継続的な実施</p> <p>⇒首都圏の女性をターゲットにした誘客プロモーションの実施</p> <p>⇒★新幹線駅（東京・名古屋・新大阪）のデジタルサイネージを活用した P R 動画放映</p> <p>⇒★首都圏ターミナル駅大型ビジョンでの P R 動画放映</p> <p>⇒■首都圏（神奈川・千葉・埼玉）をターゲットにしたテレビ放映</p> <p>○地域資源を活用した商品企画の造成（産業振興協議会・健康支援課）</p> <p>⇒修禅寺奥の院護摩堂でのヨガ事業、E-BIKE（電動自転車）やノルディックウォーキングを活用したツアー造成</p> <p>&lt;国外向け&gt;</p> <p>○インバウンド誘客事業の実施（産業振興協議会）</p> <p>⇒広域的組織（静岡ツーリズムビューロー・美しい伊豆創造センター・東部コンベンションビューロー）との連携によるファミトリップや、東京 2020 大会を契機としたメディアファミトリップの受入対応</p> <p>⇒国内在住の外国人を活用した国内外への情報発信の強化</p>	<p>・観光客一人当たりの観光消費額</p> <p style="text-align: right;"><b>1,000 円増額</b></p> <p style="text-align: right;">参考値(静岡県平均) 17,602 円</p> <p>・年間宿泊客数</p> <p style="text-align: right;">基準値 (H30 実績) 813,160 人</p> <p style="text-align: right;">⇒ <b>830,000 人</b></p>
-------------------------------------	---	--	--

## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて

### ◆戦略「ひと」【すべての世代が「幸せ」に暮らす ～子育て教育支援の更なる充実と健康づくりの推進～】

戦略プロジェクト名	取組み内容	第2期総合戦略期間における主な取組み〔★は新規事業、■は拡充事業、●は実施予定〕	最終年度(2024)成果目標
 “育てて育つ” Happy 子育てプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーションビデオ等を活用した伊豆市の子育て情報の発信とイメージの確立</li> <li>・子育て世代の交流強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■<u>子育て支援PV撮影</u>（こども課） ⇒子育てPV動画を4本撮影し、公共施設等のデジタルサイネージでPR動画放映</li> <li>○子育て情報誌 Familyizu 作成、発行（こども課） ⇒Familyizuを年4回発行し、情報発信と子育て環境の良さをPR</li> <li>○父親教室の実施（こども課） ⇒父親料理教室、親子DIY講座など父子のふれあいの創出</li> <li>○子育てママスタッフを中心とした子育てイベントの実施（こども課） ⇒地域や地元企業と連携した子育てイベントの実施</li> <li>○雨の日に遊べる交流の場の創出（こども課） ⇒子育て支援センターやベビープログラム、ベビータム等を通じた子育て世代の交流の場の創出</li> <li>●<u>子育て世代に向けたセミナーの検討・実施</u>（こども課）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援サービスの満足度 基準値 70% ⇒ <b>75%</b></li> <li>・子育て世代の交流の場への参加人数 基準値(H30年間実績) 11,375人 ⇒ <b>年 12,000人</b></li> </ul>
 子どもたちの夢を拓く 教育環境づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の外国語教育とICT活用教育の充実</li> <li>・幼小中連携したワンストップ相談窓口の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語教育の充実（学校教育課） ⇒7人のALTによる楽しい授業の実施</li> <li>○ICT機器の導入（学校教育課） ⇒★<u>50インチディスプレイモニター</u>、1人1台PCの導入等、学習指導要領に沿ったICT機器の拡充</li> <li>○学校支援員の充実（学校教育課） ⇒37名/10校の学校支援員による手厚い授業サポートの実施</li> <li>★<u>児童複合施設の整備</u>（学校教育課） ⇒放課後に子どもたちが読書や勉強をしながら、安心してバスや親の迎えを待つことが出来る居場所づくりの検討・実施</li> <li>●<u>新中学校の開校</u>（学校教育課） ⇒魅力ある新中学校の開校 ⇒学校間の連携をスムーズにするための交流強化 ⇒新中学校と義務教育学校（土肥小中一貫校）の連携強化</li> <li>●<u>ICTを活用した学校間交流の実施</u>（学校教育課） ⇒ICT機器を活用した遠隔での市内学校間の交流授業や連携体制づくりの検討・実施</li> <li>●<u>小中学校トイレの環境整備</u>（学校教育課） ⇒トイレの洋式化 100%</li> <li>●<u>ワンストップ相談窓口の開設</u>（こども課・学校教育課） ⇒幼小中連携したきめ細かいワンストップ相談体制の整備検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業を楽しんでいる割合 基準値 80% ⇒ <b>85%</b></li> <li>・相談窓口の開設、相談件数 基準値 一件 ⇒ <b>開設、年 15件</b></li> </ul>

## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて

<p>お達者の秘訣</p> <p>“げんき”プロジェクト</p>	<p>・地域と連携したげんきプロジェクトの展開</p> <p>・ロコトレを核とした高齢者の居場所づくり</p>	<p>○地域づくり協議会と連携したげんきプロジェクトの展開（健康支援課） ⇒地域づくり協議会における健康づくりや交流サロン等の事業と連携したげんきプロジェクト※<sup>1</sup>の実施</p> <p>○健康マイレージポイント制度を活用した市民の健康づくり（健康支援課） ⇒「食生活」・「運動」・「社会参加」・「禁煙」・「定期的な検診」の要素を取り入れた健康づくり事業への参加の啓発</p> <p>○ロコトレ事業を核とした高齢者の居場所や交流の場づくり（長寿介護課） ⇒★ロコトレOB会運動機能評価事業※<sup>2</sup>の実施 ⇒■ロコトレOB会の「総合事業通所型B※<sup>3</sup>」への展開</p> <p>○認知症カフェの実施（長寿介護課） ⇒認知症の方の家族やサポートする人等が気軽に相談や情報交換できる認知症カフェの設置・運営補助の実施</p>	<p>・げんきプロジェクト事業への参加者数 基準値(H30年間実績) 719人 ⇒ <b>年 1,285人</b></p> <p>・自主的な運営を行う居場所件数 基準値(H30までの実績) 6件 ⇒ <b>15件</b></p>
<p> 伊豆市のファンをつくる</p> <p>つながり展開プロジェクト</p>	<p>・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の推進</p> <p>・移住後の情報提供や連携の推進</p>	<p>○ふるさと納税の推進（財務課）</p> <p>★<u>企業版ふるさと納税の推進</u>（財務課・総合戦略課） ⇒企業版ふるさと納税の開始、推進</p> <p>●<u>関係人口の創出</u>（財務課・総合戦略課） ⇒ふるさと納税と連携した伊豆市ファンサイトの立ち上げ、ダイレクトメール送付・SNSによる情報発信の実施</p> <p>○移住者の交流の場の創出（総合戦略課） ⇒ランチミーティング、移住者カフェ等、移住者情報交換会の実施</p> <p>○移住情報ホームページの掲載内容の拡充（総合戦略課） ⇒移住者へのインタビューや移住応援企業の掲載</p> <p>○出会いの場の創出（市民課・総合戦略課） ⇒★<u>出会いの場を増やすためのイベントの実施</u> ⇒★<u>出会いの機会を創出する団体への補助</u></p>	<p>・ふるさと納税額 基準値(H30実績) 3億9,677万円 ⇒ <b>年 10億円</b></p> <p>・移住者の情報交換の場の創出 基準値(H30年間実績) 2回 ⇒ <b>年 3回</b></p>

※1 「減塩・運動・禁煙」を3本柱とした市独自の健康づくりへの取組み

※2 ロコトレOB会運動機能評価事業：参加者のモチベーションアップを図るため、専門職員による適正なアドバイスを行うとともに住民同士で運動能力の計測等ができるよう、ボランティアの育成を進める。

※3 総合事業通所型B：介護予防総合支援事業における体操などの自主的な通いの場を住民が主体となって提供するサービス。

## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて

### ◆戦略「まち」【魅力にあふれ「ずっと住みたい」と思える ～コンパクトタウン＆ネットワークの推進と伊豆市の魅力アピール～】

戦略プロジェクト名	取組み内容	第2期総合戦略期間における主な取組み〔★は新規事業、■は拡充事業、●は実施予定〕	最終年度(2024)成果目標
伊豆市愛を育む "大好き地域"実践プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり協議会が実施する住民主体の特色ある地域づくりの推進</li> <li>・高校等との連携施策の推進</li> </ul>	<p>■各地域づくり協議会による地域の魅力向上のための事業推進（総合戦略課） ⇒「健康づくり」、「田んぼアート」といった地域による特色あるソフト事業の実施</p> <p>★伊豆総合高校生と連携したまちづくりの実施（総合戦略課） ⇒高校生による西口広場や空き店舗等を活用した取組みの検討・実施 ⇒伊豆総合高校、大学等と連携したPBL学習（地域課題解決型）、地域学習の実施</p> <p>○小中学生による地域学習の強化（社会教育課・学校教育課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり協議会が実施するソフト事業件数 基準値（H30実績）年22件 ⇒ <b>年30件</b></li> <li>・高校生のまちづくりへの参加人数 （修善寺大掃除を除く） 基準値（R1実績）年50人 ⇒ <b>年60人、延べ300人</b></li> </ul>
安心・安全を生み出す ネットワーク強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、消防団と連携した防災、災害体制の充実</li> <li>・公共交通の利用機会の促進</li> </ul>	<p>○地区防災計画の策定に向けた啓発及び策定支援（防災安全課）</p> <p>○防災フリーメールの登録者増加に向けた取組みの強化（防災安全課） ⇒高齢者にも分かりやすい登録方法の周知 ⇒●<u>防災フリーメールの外国語対応</u></p> <p>○公共交通の利用促進に向けた情報発信の継続（総合戦略課） ⇒各種補助制度（いきいきバス購入助成事業・高校生バス通学補助事業）の周知の継続 ⇒簡易検索サイトやバスロケーションシステムを利用したバス利用の周知・促進</p> <p>○公共交通を利用しやすい環境づくり（総合戦略課） ⇒快適なバス待ち環境の整備</p> <p>○公共交通を利用する「きっかけ」づくり（総合戦略課） ⇒●<u>園児等の絵を車内掲載することによるバスに乗るためのきっかけづくりの検討・実施</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区防災計画の策定件数 基準値(H30までの実績) 5件 ⇒ <b>15件</b></li> <li>・一人当たりの年間バス乗車回数 【年間乗車人数/人口(4/1時点)】 基準値(H30実績) 37回 ⇒ <b>40回</b></li> </ul>

## ■ 第2期総合戦略に係る取組みについて

<p>👍 伊豆市の魅力を伝える "写真"になるまちプロジェクト</p>	<p>・戦略的シティプロモーションの展開 ・FMIS等と連携した積極的な情報発信</p>	<p>○市内外に向けた戦略的なシティプロモーション（総合戦略課・秘書室・こども課） ⇒★子育てPR大型看板の設置（三島駅、修善寺駅構内） ⇒★市内公共施設や近隣の商業施設等における情報発信（PVの活用、PRイベントの開催等） ⇒★動画のQRコードを付した職員名刺による情報発信（育てて育つ） ⇒★職員対象のシティプロモーション研修の実施  ★市公式アカウントによる積極的な情報発信（秘書室） ⇒市公式SNSにおける「#伊豆市いいね」の活用や市内外への普及啓発</p>	<p>・デジタルサイネージ等を活用したイベント等の連携回数 基準値 一件 ⇒ <b>年3回、延べ15回</b>  ・伊豆市共通ハッシュタグ「#伊豆市いいね」によるSNS投稿数 基準値 一件 ⇒ <b>延べ2,500件</b></p>
<p>👍 伊豆市で暮らそう！ "選ばれるまち"プロジェクト</p>	<p>・移住・定住施策の更なる充実と居住環境整備等の推進 ・都市計画の見直しによる鉄道駅周辺への定住促進</p>	<p>○移住・定住施策の更なる充実（総合戦略課・農林水産課） ⇒若者定住促進補助金(住宅補助・家賃補助)の実施 ⇒「お試し住宅<sup>※4</sup>」の実施 ⇒移住体験ツアーの実施 ⇒移住・就業支援交付金<sup>※5</sup>の実施 ⇒★空き家バンク事業補助金<sup>※6</sup>の実施 ⇒●移住者を対象とした農地取得の制限緩和に向けた検討・実施  ○民間主導による宅地開発の誘導（都市計画課） ⇒●地区計画地区施設整備支援補助金の実施  ○ひとり親移住定住促進事業の実施（総合戦略課） ⇒合同移住相談会の実施 ⇒ひとり親移住定住促進事業補助金(住宅補助・家賃補助・引越費用、引越初期費用補助)の実施</p>	<p>・移住施策による移住者件数 基準値(H30) 年13件、延べ55件 ⇒ <b>年20件、延べ100件</b>  ・鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数 基準値(第1期総合戦略期間) 延べ40件 ⇒ <b>延べ50件</b></p>

※4 お試し住宅：市内への移住を検討している方を対象に、伊豆市での生活が体験できる短期移住の場を提供。（土肥地区の旧土木事務所官舎を活用）

※5 移住・就業支援交付金：東京圏から市内に移住し、静岡県が選定した中小企業等に就職した場合に、100万円(単身の場合は60万円)を支給。

※6 空き家バンク事業補助金：空き家バンクの登録及び取引の促進を図ることを目的に、登録した空き家の家財処分等に要する費用の一部を補助。